

平成 2 5 年 度

川崎市工業用水道事業会計決算概況

川 崎 市 上 下 水 道 局



## 1 平成25年度 工業用水道事業会計決算概況

### (1) 総括事項

本市の工業用水道は、わが国初の公営工業用水道事業として昭和12年に給水を開始して以来、重化学工業を中心とした本市の産業経済の基幹施設としてその発展に寄与するとともに、京浜臨海部を中心に首都圏経済を支えてまいりました。

また、水需要については、産業構造の変化や省資源対策による回収水の再利用などの影響を受け減少傾向にあり低迷した時期もありましたが、近年は、ほぼ横ばいで推移しております。

そのため、将来の工業用水道の安定供給に向けて、平成18年度から、老朽化した施設の更新にあわせ再構築計画に取り組んでおり、また、東日本大震災を踏まえ更なる工業用水道施設の耐震化に取り組んでまいりました。

一方、財政面では、行財政改革などによる経費節減を推進したことにより、当年度純利益を計上し、単年度資金残額が生じました。

今後も、再構築計画や施設の耐震化などに伴う建設改良事業を推進していくことから、累積資金の活用と工業用水道経営の健全化に取り組んでまいります。

### (業務の状況)

平成25年度末における契約会社・工場数は58社81工場、1日当たりの契約水量は51万6,730<sup>m</sup><sup>3</sup>、年間契約水量は1億8,883万1,200<sup>m</sup><sup>3</sup>、年間使用水量は1億4,364万8,833<sup>m</sup><sup>3</sup>です。

また、水道料金収入は税抜きで70億594万2,372円です。

### (建設及び改良工事)

平成25年度の建設改良費の決算額は、前年度からの繰越事業費を加えて、9億3,422万9,220円となっております。

また、4億1,698万3,160円を平成26年度に繰り越しました。

主な建設改良工事として、施設再構築事業費については、再構築計画に基づき、長沢浄水場雨水調整池等築造工事等を施行しました。決算額は6億9,572万7,878円となっております。

その他の建設改良費については、さく井導水管の布設替工事等の導・送・配水管の布設及び更新、浄水場等の諸施設の改良工事を施行しました。

## 2 平成25年度 工業用水道事業会計決算総括表

### (1) 予算執行状況

#### ア 収入（税込額）

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益的収入	7,396,448,000	7,486,391,220	89,943,220	101.2%
資本的収入	876,943,000	619,834,429	△ 257,108,571	70.7%
合計	8,273,391,000	8,106,225,649	△ 167,165,351	98.0%

#### イ 支出（税込額）

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益的支出	6,926,300,000	6,495,492,067	△ 430,807,933	93.8%
資本的支出	2,500,495,484	1,614,257,744	△ 886,237,740	64.6%
合計	9,426,795,484	8,109,749,811	△ 1,317,045,673	86.0%

### (2) 収益的収支・資本的収支

#### ア 収益的収支（税込額）

(単位 円)

区分	収入	支出	収支差引
収益的収支	7,486,391,220	6,495,492,067	990,899,153

収益的収支差額（税抜額） = 当年度純利益 948,486,209円

#### イ 資本的収支（税込額）

(単位 円)

区分	収入	支出	収支差引
資本的収支	619,834,429	1,614,257,744	△ 994,423,315

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 994,423,315円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 41,912,965円、減債積立金 677,296,819円及び過年度分損益勘定留保資金 275,213,531円で補てんした。

### (3) 資金過不足額

#### ア 平成25年度単年度資金過不足額

(単位 円)

区分	金額	備考
当年度純利益 (A)	948,486,209	<補てん財源等の内訳> ・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 41,912,965 ・当年度分損益勘定留保資金 1,078,026,394 減価償却費 976,166,289 固定資産除却費 77,295,167 その他非現金支出 25,002,012 その他非現金収入 △ 437,074 ・退職給与引当金 24,650,050
資本的収支差額 (B)	△ 994,423,315	
補てん財源等 (C)	1,144,589,409	
単年度資金残額 (A) + (B) + (C)	1,098,652,303	

イ 累積資金過不足額

(単位 円)

区 分	平成 24 年度 末	平成 25 年度 単年度	平成 25 年度 末
資金残額	7,379,878,459	1,098,652,303	8,478,530,762
うち引当金	45,375,430	24,650,050	70,025,480

(4) 経営成績 (税抜額)

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	5,957,790,273	営業収益	7,015,795,346
営業外費用	204,293,517	営業外収益	118,909,696
特別損失	25,002,012	特別利益	866,969
総費用	6,187,085,802	総収益	7,135,572,011
当年度純利益	948,486,209	当年度純損失	-
前年度繰越利益剰余金	717,006,644	前年度繰越欠損金	-
当年度末処分利益剰余金	1,665,492,853	当年度末処理欠損金	-

(5) 財政健全化法における資金不足比率の状況

会 計 名	資 金 不 足 比 率	経 営 健 全 化 基 準
工業用水道事業会計	— (資金不足となっていない)	20%

※資金不足比率は現段階での速報値である。

### 3 業務の状況

年度 項目	平成 25 年度	平成 24 年度	増△減 (%)
年度末契約会社・工場数	58社81工場	59社81工場	( △1.7%、0.0% ) △1社0工場
年間契約水量 (m <sup>3</sup> )	188,831,200	188,844,900	( △0.0 % ) △ 13,700
年度末1日当たり契約水量 (m <sup>3</sup> /日)	516,730	517,380	( △0.1 % ) △ 650
年間使用水量 (m <sup>3</sup> )	143,648,833	145,706,471	( △1.4 % ) △ 2,057,638
年間配水量 (m <sup>3</sup> )	144,597,900	147,606,400	( △2.0 % ) △ 3,008,500
1日最大配水量 (m <sup>3</sup> /日)	(8/10) 435,700	(9/11) 460,700	( △5.4 % ) △ 25,000
調定水量 (m <sup>3</sup> )	191,930,614	191,051,225	( 0.5 % ) 879,389
年間超過水量 (m <sup>3</sup> )	3,099,414	2,206,325	( 40.5 % ) 893,089
配水管の延長 (m)	45,728	46,198	( △1.0 % ) △ 470
水道料金収入 (円) (税抜額)	7,005,942,372	6,959,347,142	( 0.7 % ) 46,595,230